



2018年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2017年7月5日
東

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所
 コード番号 2417 URL <http://www.zwei.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)縣 厚伸
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)後藤 喜一 (TEL)03(6858)6544
 四半期報告書提出予定日 2017年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年2月期第1四半期の業績(2017年3月1日~2017年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年2月期第1四半期	891	△4.6	△93	-	△81	-	△70	-
2017年2月期第1四半期	933	-	△37	-	△17	-	△17	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年2月期第1四半期	△17.81	-
2017年2月期第1四半期	△4.45	-

※当社は、2016年2月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2017年2月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2017年2月期第1四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年2月期第1四半期	4,715	3,833	81.0
2017年2月期	4,713	3,988	84.4

参考) 自己資本 2018年2月期第1四半期 3,820百万円 2017年2月期 3,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年2月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2018年2月期	-	-	-	-	-
2018年2月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年2月期の業績予想(2017年3月1日~2018年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	1.0	60	19.5	90	7.8	40	10.6	10.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2018年2月期1Q	3,944,400株	2017年2月期	3,944,400株
2018年2月期1Q	298株	2017年2月期	298株
2018年2月期1Q	3,944,102株	2017年2月期1Q	3,941,102株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、厚生労働省の人口動態統計によると、出生数が死亡数を下回る自然減が10年連続となり、人口減少が深刻な社会問題となっております。2016年の出生数は97万6,979名と、調査開始以来はじめて100万人を割り込む結果となりました。また、婚姻件数も前年より約1万4千組減少するなど依然として低い水準が続いており、未婚化、晩婚化は人口減少に大きく影響していると考えられます。

このような状況の中、少子化問題解決のために出会いの場の創出は不可欠であり、「幸せな出会いを創造する」ことを経営理念としている当社におきましても、顧客満足度の更なる向上を実現するとともに、1組でも多くの成婚者を創出するべく事業に取り組んでまいりました。

ツヴァイ事業につきましては、会員数を増加させるための取り組みを前期より継続して行ってまいりました。広告宣伝は、WEBメディアの運用強化に加え、成婚者の声を積極的に訴求することで、計画を上回るお客さまご応募数となりました。特に20代の若年層については、前年同期比129.7%とご応募数を大きく増やし認知度の向上に資することができました。また、営業面では、マリッジコンサルタントの研修プログラムを見直すとともに、処遇と働き方を見直し、お客さま受入体制の整備と拡充をいたしました。

しかし、アポイント業務を担うご来店受付センターの店舗拡大に向けた体制整備に時間がかかったことと、応募が増加している若年層のお客さまニーズの変化に対応したサービス提供が十分にできなかったことで、新規入会者数が退会者数を下回り、会員数は前年同期比93.1%となりました。

ライフデザイン事業につきましては、地方創生を婚活支援と地域活性化で取り組む「ミライカレッジプロジェクト」等の受託が計画通り進んだことで、売上高は前年同期比198.0%となりました。

パーティ・イベント事業につきましては、お見合いパーティ中心の事業モデルから、体験型イベントと法人・自治体からのイベント受託中心の事業モデルへシフトさせており、売上高は前年同期比73.0%となったものの、利益につきましては改善が図れております。

ウェディング事業につきましては、ツヴァイの成婚者以外にも法人団体へのアプローチを強化し、式場等への送客増加に取り組んだことで、売上高は前年同期比132.1%となりました。

以上の取り組みを実施してまいりましたが、周辺事業は利益改善が図れたものの、ツヴァイ事業において新規入会者が会員数の増加に繋がるには時間がかかっており、売上高は8億91百万円（前年同期比95.4%）となりました。利益につきましては、新会員ポータルサイト等のシステム投資および営業体制の強化に関わる費用が増加しているため、事業所の閉店や会報誌のWEB化による通信費の削減等に取り組んだものの、販売費及び一般管理費は前年並みに留まったことで、営業損失93百万円（前年同期は営業損失37百万円）、経常損失81百万円（前年同期は経常損失17百万円）、四半期純損失70百万円（前年同期は四半期純損失17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末から2億円増加し、47億15百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ60百万円減少し、19億83百万円となりました。主な要因は、前事業年度受託のライフデザイン事業の売掛金債権回収による売掛金75百万円の減少と前受け金保全金額の減少に伴う金銭の信託17百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ62百万円増加し、27億32百万円となりました。主な要因は、大阪支社の移転等による有形固定資産が28百万円増加し、また保有株式の時価評価等により投資その他の資産が50百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末から1億57百万円増加し、8億81百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて1億41百万円増加し、4億52百万円となりました。主な要因は、5月に広告宣伝を強化したこと等による買掛金65百万円の増加や人件費等の増加による未払費用26百万円の増加等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ15百万円増加し、4億28百万円となりました。主な要因は、保有株式の時価評価等により繰延税金負債が14百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から1億54百万円減少し、38億33百万円となりました。主な要因は、四半期純損失70百万円と配当金支払額1億18百万円による株主資本の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

ツヴァイ事業においては、マリッジコンサルタントの継続的な採用およびスキルアップを図り、入会率を向上させるとともに、変化するお客さまニーズに対応した商品サービスを導入し、計画した新規入会者を獲得してまいります。周辺事業においては、ミライカレッジプロジェクト等の事業受託が堅調であり、今後の実施における収益の増加が見込まれております。

また、店舗の統廃合や各種契約の見直し等を実施することでコスト削減を実現し、2018年2月期の業績予想につきましては、2017年4月12日に公表いたしました予想から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2017年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,919	180,668
売掛金	538,715	463,607
前払費用	79,446	73,429
短期貸付金	70,000	70,000
繰延税金資産	30,928	59,956
関係会社預け金	1,210,000	1,100,000
金銭の信託	74,000	57,000
その他	25,854	50,016
貸倒引当金	△71,520	△71,665
流動資産合計	2,043,344	1,983,013
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	105,734	121,565
工具、器具及び備品(純額)	105,000	120,564
リース資産(純額)	43,286	40,463
有形固定資産合計	254,021	282,592
無形固定資産		
ソフトウェア	781,616	792,009
ソフトウェア仮勘定	51,705	25,245
電話加入権	3,650	3,650
無形固定資産合計	836,971	820,905
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015,574	1,061,269
敷金	342,796	348,128
保険積立金	219,102	219,102
その他	1,649	691
投資その他の資産合計	1,579,122	1,629,191
固定資産合計	2,670,115	2,732,689
資産合計	4,713,460	4,715,703

(単位:千円)

	前事業年度 (2017年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2017年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,944	108,296
リース債務	12,195	12,195
未払金	43,811	57,105
未払費用	92,756	119,491
未払法人税等	—	5,756
未払消費税等	34,952	18,029
前受金	51,321	59,791
賞与引当金	16,270	40,481
役員業績報酬引当金	2,121	1,017
設備関係未払金	776	5,767
資産除去債務	8,401	3,234
その他	5,898	21,814
流動負債合計	311,450	452,981
固定負債		
リース債務	35,569	32,520
繰延税金負債	250,295	264,460
退職給付引当金	55,967	54,394
資産除去債務	71,629	77,600
固定負債合計	413,461	428,977
負債合計	724,912	881,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,494	455,494
資本剰余金		
資本準備金	461,481	461,481
資本剰余金合計	461,481	461,481
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,310,000	2,220,000
繰越利益剰余金	37,455	△61,111
利益剰余金合計	2,407,455	2,218,888
自己株式	△362	△362
株主資本合計	3,324,070	3,135,502
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	652,759	684,517
評価・換算差額等合計	652,759	684,517
新株予約権	11,719	13,725
純資産合計	3,988,548	3,833,744
負債純資産合計	4,713,460	4,715,703

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2016年3月1日 至2016年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年5月31日)
売上高	933,702	891,156
売上原価	473,452	485,014
売上総利益	460,249	406,141
販売費及び一般管理費	498,197	499,682
営業損失(△)	△37,947	△93,541
営業外収益		
受取利息	745	432
受取配当金	17,280	17,830
その他	3,312	153
営業外収益合計	21,338	18,415
営業外費用		
雑損失	960	6,858
営業外費用合計	960	6,858
経常損失(△)	△17,569	△81,984
特別損失		
固定資産除却損	-	5,676
賃貸借契約解約損	-	7,011
災害による損失	1,886	-
特別損失合計	1,886	12,688
税引前四半期純損失(△)	△19,455	△94,672
法人税、住民税及び事業税	3,499	4,372
法人税等調整額	△5,383	△28,800
法人税等合計	△1,884	△24,427
四半期純損失(△)	△17,571	△70,244

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。